

「音楽的な耳」を育てる エドガー・ウィレムスの音楽教育

岩手県立大学 社会福祉学部 研究例会
(2023. 1. 23)
若林 一恵

本発表の次第

- 研究の背景
 - 「聴く」ことの大切さと難しさ
 - 日本で研究・実践されてきていないウィレムス
- これまでの研究内容
 - ウィレムスの著作物に基づく文献研究
 - ヨーロッパでの実地調査
- 現在の研究内容
 - ウィレムスの音楽教育を日本国内に導入する
 - ① 現地で行われている通りに実践してみる
 - ② ピアノの個人指導の場を導入する

「聴く」ことの大切さと難しさ

聴く ≠ 聞こえる

耳は、意識の有無を問わず働いてくれるすぐれた身体器官。
(それゆえに、目覚まし時計の音で起きることができたり、
背後から車や人が近づいてきたことがわかったりする。)

しかし、だからこそ、意識して使うことが難しい！

教育的には、学習者が何をどの程度「聴いて」いるか、
目で見て確認することも難しい

「聴く」ことの大切さと難しさ

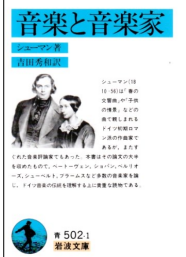
耳が良い ≠ 絶対音感

「絶対音感」は、音の高さを正確に捉えることができるが、
それ以上でもそれ以下でもない能力。

音声を聞き、パソコンで正確に入力するのと同じで、
それができたからといって話し手（演奏者や作曲家）の
思いや意図、文脈を正しく理解できるわけではない。

音楽的に大切なことは、音の強弱や抑揚（デュナーミク）、
テンポやリズムの揺れ（アゴーギク）、音色の変化など
によって生み出されるニュアンスの違いを感受できること

「聴く」ことの大切さと難しさ



ロベルト・シューマン著/
吉田秀和訳 (1958)
『音楽と音楽家』岩波文庫

譜を見ただけで、
音楽がわかるように
ならなければいけない。

(前略) 指は頭の望むものをやればいい
ので、それが反対になってはいけない。

すでに鳴っている音=もう過去のもの！
つまり、もはやコントロール不能なもの

イメージの中で音を聴くこと=内的聴感

日本で研究・実践されてきていないウィレムス



エドガー・ウィレムス (Edgar Willems, 1890-1978)

- ▶ ベルギー・フランデレン地域ラナケンに誕生 (使用していた言語はフランス語)。
- ▶ 小学校教諭養成校・美術学校を経て、「独立した芸術家」を目指して**放浪生活**。
- ▶ 哲学者・詩人・ダンサーのレイモンド・ダンカン
の思想に共鳴してパリ郊外のコロニーで
自給自足の共同生活。
(この共同生活には、藤田嗣治も！)

楽器の演奏技能や和声、作曲の基礎を**独学**で習得

日本で研究・実践されてきていないウィレムス



- ▶ パリでジュネーヴ音楽院の合唱指導者
リディー・マランと出会い、自らの拠点を
ジュネーヴへ。
- ▶ 35歳にして、ジュネーヴ音楽院に入学。
- ▶ 37歳から、ジュネーヴ音楽院の教員に。

固定概念にとらわれない
独自のメソッドを構築
☞ プロの育成ではなく、
「人間教育」を意図したもの
だが、
結果的に専門家の育成にも大いに貢献
している

ウィレムスの著作物に基づく文献研究

- 11冊の著書
- 17冊の指南書
『教育の覚え書き帳 (Carnets pédagogiques)』
- ☞ 著書・指南書ともに全てフランス語
(イタリア語、スペイン語等の翻訳書あり)
- ☞ 全てウィレムス自身が生前設立した出版社
Editions Pro Musica から出版されており、
現在もこの出版社からの入手が可能

ヨーロッパでの実地調査

- 毎年夏に Fédération Internationale Willems (国際ウィレムス連盟) が主催する国際会議や国際セミナーがあり、世界各国の指導者や学習者が集う

最近の開催都市：イタリア (ローマ)
 スロベニア (リュブリャナ)
 フランス (リヨン)
 スペイン (マドリッド) など

- 国際会議の初日にオープニング・コンサートがありウィレムス国際合唱団による演奏披露
 ☞ すぐれた耳の秘訣が翌日から種明かしされる！

ウィレムスの音楽教育を実践の場に伝える活動



◀ 若林一恵 (2018)
 『未来の音を聴く: 「音楽的な耳」を育てるウィレムスの教育』
 はるかぜ書房.



▲ ウィレムスの音楽教育についての連載記事
 ▶ 『ムジカノーヴァ』 2020年10月号, 音楽之友社.
 ▶ 『ムジカノーヴァ』 2020年11月号, 音楽之友社.

ウィレムスの音楽教育の特徴

最初に「音楽を愛することを学ぶ」期間が二年間設けられている
 ☞ 多様な「音」に触れて親しむ、種まきの期間

「知識を与える前に経験させる」ことを徹底し、
 感覚の裏付けとして理論を教えるための緻密なプロセスを構築している

レッスンの中で子どもたちが「喜び(joie)」を感じられることを
 何よりも重視しており、遊びのような打ち解けた雰囲気が進められる
 ☞ 「できる」、「できない」は問題ではなく、「教える」というより「導く」感じ

「すべての子どもに音楽教育を！」と主張
 ☞ 音楽は、限られた人だけのものではない！

ウィレムスの音楽教育の特徴

乳児が母語を習得していくプロセスに則って、
 「音楽的な感覚」を育てるために4つの段階を構築

ヨーロッパや中南米を中心に広く普及し、
 多くの成果を上げているメソッド

聴く 見る 模倣 表現する 読み書き 楽器演奏

ウィレムスの音楽教育を日本で導入するには...？

ウィレムスの音楽教育

耳を育て、歌に親しみ、音の動きに身体
の動きを沿わせ、楽譜の読み書きを学
び、それらの段階を経てから、
自分で選んだ楽器の演奏へ...

「音楽ありき」

実践は、基本的に4~7名程度の
小グループレッスン

日本の私的な音楽教育

依然として「**ピアノ**を習う」、
「**ヴァイオリン**を習う」など、
特定の楽器を介して音楽と出会う傾向
にある

「楽器ありき」

実践は、基本的に一対一の
個人レッスン

国内での導入に向けた具体的な方法①

ヨーロッパで実践されている通りに、
1レッスン1時間をそのままやってみる！

- ▶ これまでに子育て支援施設等で
「音あそび」と題するワークショップを複数回実施
- ▶ ウィレムスのオリジナルの歌の日本語の歌詞を考案

La Perdrix ことり

Do - ré - mi, La per - drix, Mi - fa - sol, Prend son vol, Fa - mi ré, Dans un
ドレミ ことり ミファ ソ とぶ ファミ レ そうげん

6
pré, Mi - ré do, au bord de l'eau, Do - si la, La voi la, Si - la sol, dans son
ミレ ド みずべ ドシ ララ シラ ソ とぶ

12
vol, La - sol - fa, près du bois, Mi - ré do, au bord de l'eau
ラソ ファ もり や ミレ ド みずべ

国内での導入に向けた具体的な方法②

(私的な音楽教育の場として最もポピュラーである)
ピアノの個人指導の場に導入する！

- ▶ 2021年に「**ウィレムス音楽教育研究会**」立ち上げ、
1~2ヶ月に一度、オンライン研究会を開催
- ▶ 全国のピアノ指導者の協力を得てレッスンに導入してみ
いただき、その様子を動画と報告で共有していただいている

実践例①: 耳の神経衰弱



- ▶ さまざまな素材を入れた小さな箱を5~6種類×2セット作る
- ▶ 指導者が1セットの全種類の箱を順に振って鳴らし、子どもたちはその様子を見ながら音を聴く
- ▶ 指導者が1セットの箱をランダムに並べ替え、一つずつもう1セットの箱の中から同じ音を探す

「耳の神経衰弱」



Ryméa l'école d'éducation musicale: [L'initiation à Ryméa: appariement de timbres](https://www.youtube.com/watch?v=DGaTKb3DU0)
<https://www.youtube.com/watch?v=DGaTKb3DU0>

実践例②: 小物楽器の音あてクイズ



- ▶ さまざまな音色の小物楽器を並べて、指導者が全種類の楽器を順に振って鳴らす。子どもたちはその様子を見ながら音を聴く
- ▶ 子どもたちの目を瞑らせてから指導者がどれか一つの楽器を鳴らし、子どもたちに当てさせる
- ▶ 答える子どもは、指導者と同じように楽器を鳴らす

「小物楽器の音あてクイズ」



L'initiation à Ryméa: le développement auditif -3-
<https://www.youtube.com/watch?v=RIKdKx3WRJ4&t=17s>

実践例③: 音の上行・下行の聴き分け



- ▶ 指導者がスライドホイッスルを吹いて多様な音高変化を表現し、子どもたちはその音の動きを声と手で真似して表現する
- ▶ 子どもたちに目を瞑らせてから指導者がスライドホイッスルを吹き、音の「上がった」、「下がった」を答えさせる

「音の上行・下行の聴き分け①」



L'initiation à Ryméa: le mouvement sonore -2
<https://www.youtube.com/watch?v=JBgkun6yJCY>

「音の上行・下行の聴き分け②」



L'initiation à Ryméa: le mouvement sonore -1 -
<https://www.youtube.com/watch?v=sdtZvHQ92kc>

おわりに: 今後取り組んでいきたいこと

- ウイレムスの音楽教育の国内での実践の継続
 - ▶ オリジナルの歌の日本語の歌詞の検討
 - ▶ ワークショップの開催
 - ▶ ウイレムス研究会の内容の継続と拡大

国内での実践の効果や課題の明確化

国際会議等への参加、レッスン見学等の実地調査

同時代のメソッド間の影響関係に関する文献研究